

広島 平和公園上空

大谷大学フェア (中国・四国)

大谷大学フェア(中国・四国)は、中国・四国地区の大谷大学同窓生、在学生保護者、大谷大学に関心をお持ちの方々のための合同企画です。

進学相談会 事前申込不要

12:30~17:00

会場: 地下2階 ラン①

大谷大学への進学をお考えの方はぜひご来談ください。

保護者懇談会

12:30~15:20

会場: 地下2階 ラン①

同窓会中国・四国地区 支部長会

13:00~15:00

会場: 地下2階 ラン②

公開講演会 事前申込不要

15:30~17:00

左記をご参照ください。

同窓会・教育後援会 合同懇親会

17:30~19:00

会場: 地下2階 グリア②

会費: 5,000円

- * 大谷大学同窓生・教育後援会員 対象
- * 懇親会ご出席の方は、下記へお申込みください

大谷大学フェア(中国・四国) 公開講演会

講題

入場無料 事前申込不要

<共に生きる>を考える

講師 大谷大学長 木越 康

日時

12月2日(土)

15:30~17:00

会場/広島国際会議場地下2階 コスモス
(広島県広島市中区中島町1-5)

アクセス/JR 広島駅より市営電鉄

西広島②、江波⑥、宮島行

「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分

Be Real
寄りそう知性



大谷大学

お問い合わせ先

大谷大学校友センター

〒603-8143

京都市北区小山上総町

Tel 075-411-8124

E-mail kouyu@sec.otani.ac.jp

主催: 大谷大学

共催: 大谷大学同窓会
教育後援会

講師略歴

き ぐし やすし
木 越 康

1963年生 54歳

1990年3月 大谷大学大学院博士後期課程満期退学（真宗学）
財団法人私学研修福祉会国内研修修了（東京大学文学部宗教学科）
大谷大学短期大学部助手、大谷大学講師、准教授を経て、
2013年4月より大谷大学教授
大谷大学学生部長、教育・学生支援担当副学長を歴任し、
2016年4月より大谷大学長・兼大谷大学短期大学部学長



【専門】 真宗学

【著書・論文】

『仏教とキリスト教の対話Ⅰ～Ⅲ』（共著・法蔵館）
『キリシタンが見た真宗』（共著・真宗大谷派宗務所出版部）
『正像末和讃を読む』（真宗大谷派大阪教区出版会議）
『他力の信心－親鸞の仏弟子観－』（日本仏教学会）
『ボランティアは親鸞の教えに反するのか』（法蔵館）
「真宗教学の近代化と現在－浄土理解の変遷を通して－」（『親鸞教学』第82/83号所収）
「ポストモダンと真宗」（『大谷学報』第79巻第2号所収）
「真宗（もしくは真宗学）における実践学の可能性」（『親鸞教学』第79号所収）
「真宗における「内的平和と暴力の克服」－第五回ルドルフ・オットーシンポジウムより－」（『親鸞教学』第88号所収）
「信心発起という出来事－法然・隆寛との思想的交流を通して」（『親鸞聖人七百五十回御遠忌記念論集『教行信証』の思想』所収）
「親鸞と末法(上)」（『親鸞教学』99号所収）
「親鸞と末法(下)」（『親鸞教学』100号所収）

新しい大谷大学を象徴するメッセージ／「Be Real－寄りそう知性」

2018年4月、大谷大学は現在の文学部に、新しく社会学部と教育学部（ともに仮称）を加えた「3学部体制」になります。それに伴い、大谷大学を象徴する新メッセージを作成しました。

「Be Real－寄りそう知性」です。

「Real」には二つの「実」の意味を含めます。一つは仏教でいう「真実」です。人間の思慮分別や価値判断が加わる前の世界、真理の姿を指し示す言葉。もう一つは目の前の「現実」です。社会問題や一人ひとりが経験する苦悩など、世の中に現れる具体的事象。そして「Be」は「足場をおく」、「成る」。

「Be Real」とは、真実を立脚地として、世の中の現実を生きていこうという態度を表す言葉であり、また、世の中の現実に向きあいながら真理を探究していこうという姿勢を表す言葉です。真実と現実とにしっかり足場をおいて、本来あるべき人間の姿、あるべき社会を探究し、創造していこうというメッセージが「Be Real」です。

そして「寄りそう知性」とは、「Be Real」をより具体的に表現したサブフレーズです。仏教の理念に基づく本学において、どの学部・学科で学ぶことになろうとも、学ぶことで得られる知性は「他者に寄りそう」ことになるはず。仏教の智慧は、必ず人間に慈悲を生み出す力となる。それが「寄りそう知性」です。

2017年4月1日

大谷大学長 木越 康